

2026年1月16日

2025年12月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は堅調に推移し、販売量は前年並みとなった。

巻取はスポット案件が低調に推移した影響で、昨年を下回る販売量となった。

（前年比 平判 102.8%・巻取 89.2%）

再生紙の平判は役所、官公庁関連の需要を中心に前年をやや上回った。一方で巻取は広報誌関係の定期案件に留まったため、昨年を大きく下回る結果となった。

（前年比 平判 105.0%・巻取 69.4% 再生上質計 80.5%）

印刷用紙 A 全般では再生紙を含め巻取の販売が不調であるため巻取の在庫率が上昇しているが、全体としては前年対比を下回る在庫率となった。

（印刷用紙 A 全体売上前年比 100.4%、在庫前年比 90.1%）

<A2 コート>

平判はクリスマスや正月商戦向けの印刷物や宅配、量販店等で一部動きがあったが、商印関連、雑誌の落ち込みが恒常化しており、グロス・マット共に前年を下回った。

巻取は宅配、ドラッグストア等のチラシやカタログパンフで動きがみられた。依然として雑誌、商印等においても落ち込みが続いているが、前年実績が大幅に低かった反動もあり、マットは前年を大きく上回ったがグロスは前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 94.8% 巻取 99.1% 全体 95.5%）

<A3 コート>

宅配やホームセンター向けの定期品チラシで動きがみられたが、カタログパンフ等の商印が振るわず、目立ったスポットも無かったため、前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 88.5% 巻取 67.9% 全体 75.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は年度末に向けて、旅行保険加入申込書や金融系の手書き帳票などで一部動きが見られた。

巻取においても生保の窓販帳票や共済系帳票の動きがあり、平判、巻取共に前年が低迷した反動もあり前年を上回った。

（前年比 平判 108.5% 巻取 105.5%）

<上質フォーム>

後期高齢者医療案件や自治体の納税通知書などの案件が前倒しで動き始めたが、前年を若干下回った。

(前年比 97.8%)

<包装用紙>

保険関係の封筒等で両更晒クラフトに一部動きが見られたが、好調であった前年の数字は下回った。一般企業向けの封筒なども一定の需要が見られ、クラフト各種は前年並みの数字となった。

純白ロールは、菓子用の包装やスーパーマーケット向けの包装紙が堅調に推移し、前年を大きく上回った。包装紙全体としては、前年実績を下回る結果となった。

(前年比 93.6%)

<板紙>

コートボールは価格修正の影響により一部で積み増しの動きがあったが、実需は前年並みの推移であった。特板は医薬品・日用品向けの年末需要が盛り上がり欠け、前年を大きく下回った。

高板はトレーディングカード需要が依然堅調なことからほぼ横ばいで、在庫は卸商の価格修正向けの積み増しがあり大幅増。

チップボールは出版用途の低迷が続いていることに加え、エンタメ系のスポット案件も振るわなかったため前年を下回る。

(前年比 94.7%)